

(3) 雪を楽しもう！

① 札幌雪まつりの雪像は、どうやって作られるのかな



① 採雪

会場まで運び入れます。大雪像1基で、約600台分の運搬を行います。



② 積雪

札幌近郊の採雪地できれいな雪を採雪します。



③ 足場組み立て

足場を組み、運搬された雪を、大型重機を使って積み上げていきます。



④ 寝かせ

積み上げが完了すると、雪の結着を安定させるために寝かせます。



⑤ 粗削り

寝かせが終わると、粗削りを行います。



⑥ 細部彫刻

その後、細部の制作にとりかかります。



⑦ 夜間作業

夜間作業をしながら緻密に仕上げていきます。



⑧ 概成

ほぼ、雪像の形ができあがりましたが、ここからが本番です。



⑨ 仕上げ

事前に準備したパーツなどを付け加えながら、細部まで仕上げていきます。



⑩ 完成！

見事な大雪像が完成し、皆さんに楽しんでいただきます。

参考) <https://www.snowfes.com/about/process/>

②雪像を作ってみよう！

どんな雪像を作りたい？これまでの雪像コンテストを参考にしよう

2026年 市民雪像人気投票 第1位～第3位



1位 OWVの躍進を追うライオン



2位 熊出没注意!やべーべや



3位 胃を大切に!

これまでの人気投票 第1位受賞作品



2025年 1位
さっぽろテレビ塔だべや



2024年 1位
湯ばーばと仲間達



2023年 1位
猫バス・スマイル

参考) <https://www.snowfes.com/about/sapporo-citizen-snow-sculpture-production/>

③雪の特徴を生かして、遊びや作品作りを考えよう

圧縮する、気温・湿度によって変化するなどの雪の特徴を生かし、雪を生かした作品や遊びを考えよう！

雪のふしぎ：ぎゅっとかたまる



雪はぎゅっとおすと、
くっついて かたくなります。
この「圧縮」の力を使って、
じょうぶな雪の家や、雪だるまをつくってみよう！

雪のふしぎ：気温でかわる



気温がとてもひくいと、雪はサラサラで、
かたまらなくなります。
こんな日は、きれいな結晶をさがしたり、
スキーやスノーボードで楽しめよう！